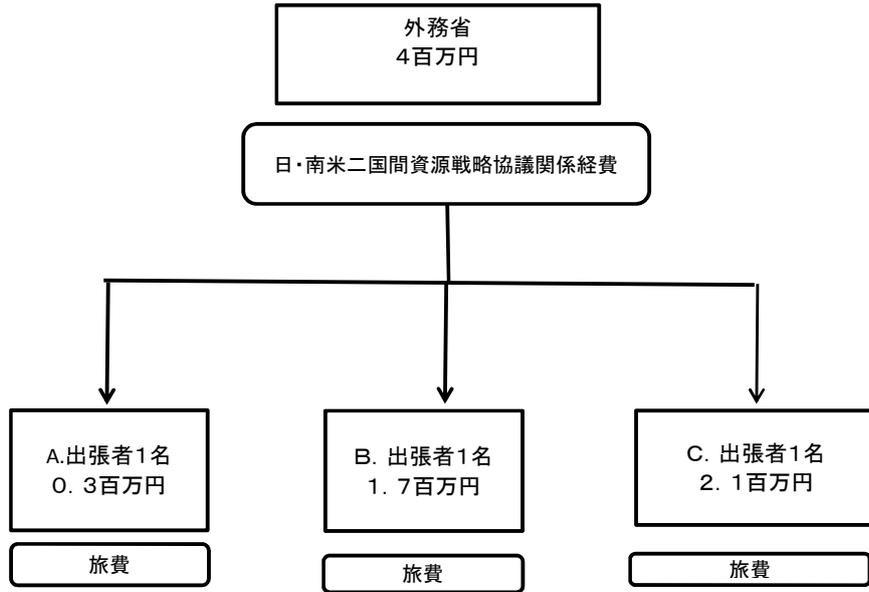


平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	日・南米二国間資源戦略協議関係経費		担当部局庁	中南米局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	南米課		課長 星野芳隆		
会計区分	一般会計		施策名	I-3 i中南米地域				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2号, 第8号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	南米地域は天然資源(食料を含む。)の豊富な地域であり、我が国にとって重要な資源の供給元であることから、同地域や我が国経済界との緊密な協議を通じ、資源分野での協力関係の維持・発展を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南米地域との資源分野での協力関係の維持・発展に向けて、関係国と協議を行う。また、当該分野において日本企業に対する適切な支援を実施するため関係者と意見交換を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	4	5	3	4	3	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	4	5	3	4	3	
	執行額	5	1	4				
	執行率(%)	125%	20%	133%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	<成果目標>豊富な資源を有する南米諸国の政府及び現地に進出している資源関係の日系企業と定期的に意見交換を行うことで、現地進出日系企業の活動支援、ひいては我が国の将来的な資源確保を実現する。 <成果実績>各国政府から入手した情報の効果的な共有及び日系企業の関心・懸念事項の各国政府へのインプットを効果的に実現した。		進出日系企業数	約300	約300	約350	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①ベネズエラ、②ペルー・ボリビア及び③ブラジル・ウルグアイの3件について、各1名ずつ出張させ現地事情を調査した。		活動実績 (当初見込み)	百万	5	1	4 (4)	- (3)
単位当たりコスト	1,389,634円		算出根拠	事業全体に要した経費(4.1百万円)÷出張者数(3)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	3,476	3025					
	謝礼	95	90					
	会議費	55	37					
	計	3,626	3,152					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>両国の関係者が、相手国を実際に訪問し、会合を行うことは、相互理解を深める上で効果的な方法。今回の相手（ベネズエラ、ポリビア）との会合はいずれもエネルギー戦略の構築・推進に有益であった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業の見直し,単価の見直しによる減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		縮減(事業の見直し,単価の見直しによる減)	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	出張者1名	0			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	出張者1名	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	出張者1名	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	外国出張旅費	0.3		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	外国出張旅費	1.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	外国出張旅費	2.1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					